



帯広市立明和小学校 学校だより

Obihiro Meiwa Elementary School

# 明和の子

児童が自信とやる気をもって生き生きと学ぶ学校

《学校教育目標》

- 明るく豊かな心を持つ子ども
- 和やかで思いやりのある子ども
- のびのびとよく考える子ども
- こんきよくがんばれる子ども

令和4年9月22日 No.917

(令和4年度 No.17) 文責 辻 勝行

## 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果について

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されましたので、本校6年生全体の傾向についてお知らせします。授業改善推進事業の取組や習熟度別・少人数指導等の成果が表れ、着実に学力が向上していると判断しています。

本校では、本調査の結果を踏まえ、一層の改善に取り組み、今後の指導に生かしていきたいと思えます。



### 国語

「言葉の特徴や使い方に関する事項」については全国・全道平均正答率を大きく上回り、「我が国の言語文化に関する事項」については、全国・全道平均正答率を上回りました。

「話すこと・聞くこと」「読むこと」についても全国・全道平均正答率を上回り、「書くこと」については全国・全道平均を下回りました。

観点別では、「知識・技能」で全国・全道平均正答率を大きく上回り、「思考・判断・表現」で全国・全道平均正答率を上回りました。

#### 【本校児童の傾向】

- 話し言葉と書き言葉との違いを理解することができます。
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像することができます。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができます。
- △登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることに課題が見られます。
- △文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることに課題が見られます。

### 算数

「数と計算」「図形」では全道平均正答率を上回りました。「変化と関係」「データの活用」では、全国・全道平均正答率を下回りました。

観点別では、「思考・判断・表現」で全国・全道平均正答率を上回り、「知識・技能」で全国・全道平均正答率を下回る結果となりました。

#### 【本校児童の傾向】

- 示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断することができます。

- 被乗法に空位のある整数の乗法（ $1,050 \times 4$ ）の計算をすることができます。
- 加法と乗法の混合した数の求め方を解釈し、ほかの場合の数の求め方と答えを記述することができます。
- △百分率で表された割合を分数で表すことに課題が見られます。
- △正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述することに課題が見られます。

## 理科

「粒子」を柱とする領域では全国・全道平均正答率を大きく上回りました。「エネルギー」「地球」を柱とする領域では全国・全道平均正答率を上回り、「生命」を柱とする領域では全国平均正答率を下回る結果となりました。

観点別では、「知識・技能」で全国・全道平均正答率を大きく上回り、「思考・判断・表現」で全道平均正答率を上回りました。

### 【本校児童の傾向】

- メスシリンダーという器具について理解することができます。
- 観察などで得た結果を、結果から分析して、自分の考えをもつことができます。
- 水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解することができます。
- △観察などで得た結果を、他者の気づきの視点で分析して、自分の考えをもつことに課題が見られます。
- △予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことに課題が見られます。

## 児童質問紙 （生活習慣や学習環境に関する調査）

### 【本校児童の傾向】

- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童が多いです。
- 家で学校からの課題でわからないことがあったとき、先生や友だちに聞く児童が多いです。
- 家で自分で計画を立てて勉強をしている児童が多いです。（学校の授業や復習を含む）
- 今住んでいる地域の行事に参加している児童が多いです。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる児童が多いです。
- △普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をする児童が多いです。
- △普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをする児童が多いです。（スマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）
- △学校の授業時間以外に、勉強をする時間が1時間以下の児童が多いです。
- △学校の授業時間以外に、普段読書をしない児童が多いです。

## これらの結果を受け、学校では、次の1～4に取り組みます

### 1 基礎・基本の確実な定着に向けて

- ・定着問題の時間を確保した授業づくりを進めます。
- ・家庭学習や朝学習での漢字や計算の反復学習の取組を行います。
- ・引き続き効果的な習熟度別・少人数指導を実践します。
- ・ICTの効果的な活用（クロームブック含む）に努めます。



### 2 組織としての授業改善に向けて

- ・授業改善推進教師と連携した質の高い授業を一層進めます。
- ・1時間の授業の流れの確実な定着（課題とまとめ、伝え合う場面が明確な授業）を図ります。
- ・「考えを伝え、学び合う子どもの育成」を目指した校内研究を推進します。
- ・学習の足跡がわかるノートづくりの取組を充実させます。
- ・学力向上コーディネーターを中心とした各種調査結果の分析を改善プランへ反映させます。

### 3 学習規律や学習習慣の定着に向けて

- ・学習規律の徹底と話し合いの仕方の指導を充実させます。
- ・家庭学習の手引きの活用しながら、学習習慣の定着を図ります。

### 4 自己有用感を育む取組の推進に向けて

- ・子ども同士の話し合い活動の充実を一層進めます。
- ・人を認め、人から認められる子どもの育成に努めます。



## ご家庭にお願いしたいこと

「よくわかる！明和小学校」を活用してよりよい学習習慣、生活習慣の定着をお願いします。

- 1 家庭学習や読書習慣の育成（家庭学習の手引きを活用）をお願いします。
  - ・10分間×学年を目標にした家庭学習の取組を継続しましょう。
- 2 よりよい生活習慣の定着に向けた取組をお願いします。
  - ・テレビゲームの時間を減らし、家庭学習や読書の時間にしていきましょう。

なお、今後、学校としての分析を深め、帯広市教育委員会がまとめている本市全体の状況等をあわせて、ホームページなどで、後日お知らせする予定です。